

所属： 危機管理学部 危機管理学科
資格： 准教授
氏名： 山下 博之

研究課題名	地域防災におけるローカル・ガバナンスの成立過程に関する研究
研究目的及び 研究概要	本研究では、従来からの地域防災の担い手である町会・自治会等のコミュニティ組織だけでなく、商店街組合や地元企業、集客施設等の地域の様々な組織が防災活動に取り組むローカルガバナンスに着目する。防災に関わるローカル・ガバナンスが成立する条件について調査研究していく。 主に4月～8月にかけては文献調査を実施し、関連する文献・資料を収集するとともに、論点を整理した。 2024年9月から2024年2月にかけては現地調査を実施し、自治体の担当者や地域住民、事業者等に対するヒアリング調査を行った。
研究実績の概要 研究の進捗状況・得られた成果・今後の課題・研究実績等	1. 研究の進捗状況 (1) ローカル・ガバナンスに関する文献調査 ローカル・ガバナンスに関わる文献を収集し、論点整理を行なった。 (2) ローカル・ガバナンスに関わるフィールドワーク調査 ・世田谷区下馬地区町会・町内会長との意見交換（2024年7月）。 ・世田谷区下馬地区内における防災訓練への参与観察（2024年10～11月） ・世田谷区危機管理課に対するヒアリング調査（2025年2月）。 ・石川県庁危機管理課・創造的復興推進課及び石川県珠洲市危機対策室へのヒアリング調査（日本大学特別研究の研究費を使用したため個人研究費は未執行） 2. 今後の課題 (1) 被災地でのローカル・ガバナンスの効果について引き続き、現地調査を実施する。 (2) 地域防災に関わるローカル・ガバナンスの機能について、引き続き世田谷区をはじめとする特別区へのヒアリング調査を実施する。 (3) 2022年度に実施した世田谷区の町会・自治会へのアンケート調査について、他の特別区での実施準備を進める。